

(別紙2)

3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください。

未来みやざき産業人材育成事業 A事業①

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

当機構では、第5期中期運営計画において、「地域経済を牽引する企業の育成」「本県の特性や強みを生かした産業基盤づくり」「中小企業の持続的発展のための経営基盤強化」を重点目標に掲げ、「新事業、新分野進出への支援」「県と連携した成長産業（フードビジネス、医療機器関連産業、自動車産業、航空機産業、ICT産業）の振興」「中核企業の育成」「企業の人材育成」など9つの事業戦略を定めている。

また、宮崎県の「みやざき産業振興戦略」においても、「将来にわたって地域の経済と雇用を支える企業・産業の振興」「みやざきで暮らし、みやざきで働く人財の育成・確保」「企業の成長等を促す各種支援」を方針として掲げている。

この事業の目的は、当機構の運営計画及び県の振興戦略の達成のため、県内中小企業の従業員の技術力向上を図る「人材育成」を主な柱とし、大学や公設試験研究機関等との産学官連携による「新商品・新技術開発」なども支援する包括的な支援事業を実施することで、本県中小企業の振興と産業の活性化を図ることである。

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

本県の成長産業を重点とした産業発展のため、宮崎県内の中小企業等の技術者・新サービス開発担当者・デジタル技術者の育成を目的とした技術・新サービス開発等について、必要な経費の一部を支援する事業を実施した。

令和4年度に公募を実施し、13件の応募に対して10件を採択、助成した（詳細は別添「未来みやざき産業人材育成事業 成果報告書」参照）。

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

本事業を主体的に実施する技術者等の能力向上に向けて、技術者等として必要な能力を「課題解決能力」「専門能力」「マネジメント能力」として設定し、主たる技術者等の上司等（評価者）により申請時と事業完了時に能力評価を実施した（詳細は別添「未来みやざき産業人材育成事業 成果報告書」参照）。

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

技術者等が本事業で取り組んだ技術・研究・実証実験結果を「事業化」「実用化」「研究継続（ステップアップ）」に分類し、下記のとおり継続支援を行う。

1. 事業化・・・販路開拓支援、設備投資支援
2. 実用化・・・設備投資支援
3. 研究継続（ステップアップ）・・・研究開発プラン策定支援及び国、県等の研究開発資金獲得支援

【本事業及び継続支援後の効果】

本事業に取り組んだ技術者等の主導により下記の効果が見込まれる

（直接効果）

- ・ 県内中小企業の技術力と競争力の強化
- ・ 技能の見える化による事業継続
- ・ 地域課題に対する貢献

（波及効果）

- ・ 従業員が活躍しやすい職場環境の醸造
- ・ 新たな産業や市場の創出
- ・ 中小企業から中堅企業への規模拡大

これらの波及効果により県内産業の発展に繋げる。

注1) 上記項目について詳細に記載してください。

注2) 成果（結果）の内容について、別途、お伺いすることがあります。

注3) 成果物（報告書・アンケート集計物・DVD等）、記録用写真等があれば提出してください。

未来みやざき産業人材育成事業

成 果 報 告 書



堀切峠(宮崎市)

事業概要

未来みやざき産業人材育成事業（制度概要）

1 事業概要

(1)事業の趣旨

県内中小・中堅企業等の従業員等に地域資源等を活用した研究開発、新サービスの開発、デジタル技術の導入に係る実証実験を支援し、県内の新たな市場・産業の創出及び中小企業等のデジタル技術導入促進等、県内産業の持続・発展を促進する。

(2) 事業内容

中小企業等が自社に勤務する従業員等に対して、人材育成を目的とした研究開発等を実施させ、その実施に必要な経費を助成する。

(3)助成対象者等

①対象事業者

資本金10億円未満の個人、法人(NPO法人、社団法人・財団法人含む)、組合、グループ

※医療・社会福祉法人及び収益事業を行っていない個人・法人は対象外

②助成対象事業及び助成限度額

・ものづくり技術者育成

【単独型】 100万円 【産学官連携型】 200万円

・新サービス開発担当者育成 100万円

・デジタル技術者育成

【単独型】 50万円 【産学官連携型】 200万円

③助成率

【成長産業・重点分野】 3／4 【その他】 2／3以内

※成長産業・重点分野

①医療機器関連産業	②自動車関連産業	③航空機関連産業	④ICT産業
⑤フードビジネス	⑥観光産業	⑦スポーツ産業	⑧商店街活性化

支 援 実 績

未来みやざき産業人材育成事業（支援実績）

2 実 績

(1)提案・採択・実績

		提案	採択	実績
金 額		17,336千円	13,279千円	11,846千円
件 数		13件	10件	10件
(分野別 内訳)	①医療機器関連産業	—	—	—
	②自動車関連産業	—	—	—
	③航空機関連産業	—	—	—
	④ICT産業	2件	2件	2件
	⑤フードビジネス	8件	6件	6件
	⑥観光産業	2件	2件	2件
	⑦スポーツ産業	—	—	—
	⑧商店街活性化	—	—	—
	⑨その他	1件	—	—

(2)審査会

開催日	審査件数	採択件数
令和4年7月4日	8件	8件
令和4年10月5日	5件	2件
計	13件	10件



2 実 績

(1)採択概要

①ものづくり技術者育成(単独・産学官連携型)

区分	採択企業名	連携機関名	事業概要
単独	吉川工業アールエフ セミコン(株)	—	ID・メモリ付きタグの共通検査機の開発
連携	(一社)食の安全分析 センター	・宮崎県総合 農業試験場	農産物の新品目や新しい病気等に対応した残留農薬分析技術の開発
連携	(株)アルバ宮崎	・宮崎大学 ・宮崎県工業 技術センター	施設園芸ハウスにおける電熱シート(PHF)を用いた地温コントロール栽培技術の開発
連携	(株)宮防	・宮崎県食品 開発センター ・山口大学	昆虫食への展開に向けた効率的コオロギ飼育の構築及び衛生的コオロギパウダー製造技術の開発
連携	(株)MFE HIMUKA	・宮崎大学	サツマイモの深紫外線（UV-C）殺菌技術の開発

2 実 績

(1)採択概要

②新サービス開発担当者育成

	事業概要
(同) ツクレタ	ハンドメイド・クラフトの手作り体験教室（ワークショップ）事業のプラットフォーム構築と観光産業とのコラボレーション検証
(株)藤木石油店	自社商品「四億年のめぐみ®」及び自社事業と観光産業の連携による新たな着地型観光商品の開発
早川しょうゆみそ(株)	汎用性の高い国内外プロモーション用動画制作と実証研究

③デジタル技術者育成(単独・産学官連携型)

区分	採択企業名	連携機関名	事業概要
単独	(有)大田商店	—	陸上魚類養殖におけるリアルタイムカメラを活用したデジタル管理化に向けた実証試験
連携	アルバック機工(株)	・都城工業高等専門学校	IoTを活用した製造現場DX化の確立

3 人材育成評価

(1) 評価方法

交付申請時と実績報告時に技術者等の評価者(上司等)により

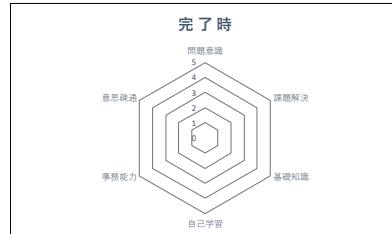
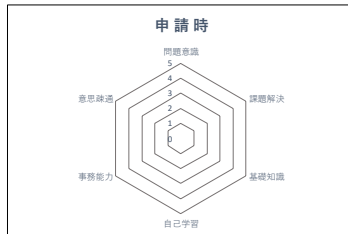
- ①課題解決能力
- ②専門能力
- ③マネジメント能力

の項目について、5段階評価で能力測定を実施

ものづくり技術者 評価シート

企業名	株式会社〇〇工業
主たる実施者職氏名	製造部 〇〇 〇〇
評価者職氏名	製造部部長 〇〇〇〇

		評価時期		評価項目(5段階)
		申請	完了	
①課題解決能力	問題意識			・常に製造技術や経営上の課題発見に意識を持つよう努めているか
	課題解決			・発見した課題の本質を理解し、その原因を分析、解明するよう努めているか
②専門能力	基礎知識			・業務遂行に必要な技術知識を持つよう努めているか
	自己学習			・専門技術を更に深めるための学習を自発的に実施しているか
③マネジメント能力	事務能力			・研究開発プロジェクトの実施計画策定、スケジュール管理、予算管理能力など、事務的能力の向上に努めているか
	意思疎通			・プロジェクトメンバーや共同研究機関等と円滑にプロジェクトを推進するため、積極的にコミュニケーションを図っているか
合計点		0	0	



※評価者コメント記載欄

【申請時点】

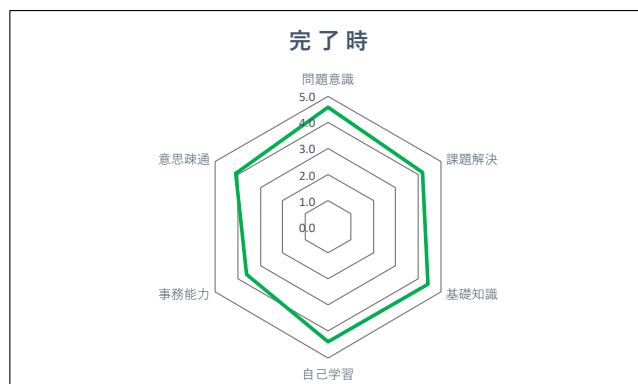
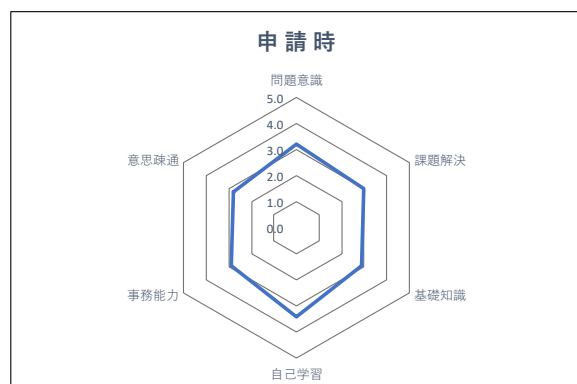
【完了時点】

3 人材育成評価

(2) 評価集計

対 象 企 業 数	10社
-----------	-----

		評価時期		評価点 伸び率
		申請	完了	
①課題解決能力	問題意識	3.2	4.6	1.4
	課題解決	3.0	4.2	1.2
②専門能力	基礎知識	2.9	4.4	1.5
	自己学習	3.4	4.4	1.0
③マネジメント能力	事務能力	2.9	3.6	0.7
	意思疎通	2.8	4.1	1.3
合計点		18.2	25.3	



未来みやざき産業人材育成事業（支援実績）

4 技術者等の個別報告

実績報告時に技術者等が評価シートの各評価項目について報告

未来みやざき産業人材育成事業の人材育成に係る成果について	
公益財団法人宮崎県産業振興機構 理事長 殿	
未来みやざき産業人材育成事業の人材育成に係る成果について、下記の通り報告します。	
研究開発等テーマ名	
実施期間	
(人材育成に係る成果について)	
※この助成事業に取り組んで、どのような成果や効果が得られたか、人材育成（課題解決能力、専門能力、マネジメント能力）の観点からそれぞれ記入し、実績報告書と併せて提出してください。	
上記のとおり報告します。	
令和 年 月 日	
企 業 名 : _____	
主たる実施者名 : _____	

成 果 事 例

企業名：株式会社アルバ宮崎

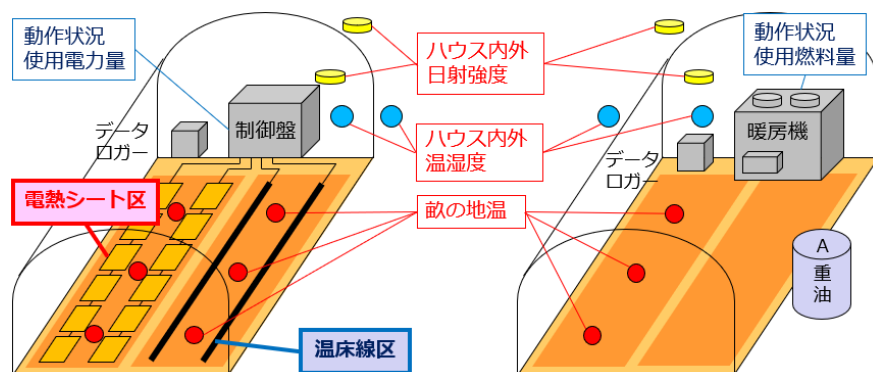
テーマ：施設園芸ハウスにおける電熱シート(PHF)を用いた
地温コントロール栽培技術の開発

1. 概要

化石燃料に依存しない低炭素型農業の実現に向けて、電熱シートを用いた地温コントロール技術を開発する。

2. 研究内容

- ▼電熱シートを用いた地温コントロール栽培実験及び評価
- ▼環境データ測定環境の構築



電熱シート(左上)、電熱シート敷設(左下)
IoTデバイスを活用した比較試験及び環境データ測定実験(右)

3. 成果

【研究開発】

- ・実験の結果、従来栽培(重油暖房機加温)と比較して遜色ない収穫量が得られた。また、加温コストが約55%低下、二酸化炭素排出量が約55%の削減効果があった。

【人材育成】

- ・農業における電気制御技術及びIoT技術の活用能力が向上した。また、関係者との連携を通じて研究を実施したことにより、マネジメント能力が向上した。

4. 事業終了後の成果等

- ・太陽光発電システムや蓄電システムと組み合わせた使用方法などについて、事業化に向けた研究開発を継続中(県補助金獲得)

企業名：株式会社藤木石油店

テーマ：自社商品「四億年のめぐみ®」及び自社事業と観光産業の連携による新たな着地型観光商品の開発

1.概要

自社事業(トマト栽培・トマトソース製造、民泊)と観光産業の連携による新たな着地型観光商品の開発に向けて、実証実験を実施する。

2.研究内容

- ▼自社栽培トマトと中山間地域の特性を生かしたイベントの企画・実施・検証
- ▼ナイトアクティビティの企画・実施・検証



自社トマトソースを使用したピザ作り体験



社員による
観光案内



ナイトアクティビ
ティ(JAZZライブ)

3.成果

【新サービス開発】

- ・モニターツアー企画実施により顧客満足度や収益モデルを検証し、事業化に向けたビジネスモデルを確立した。

【人材育成】

- ・申請企業が初めての観光事業に進出するにあたり、本事業に取り組んだ従業員の専門能力とマネジメント能力(利益の出る着地型観光商品の企画開発・運営)が大きく向上した。

4.事業終了後の成果等

- ・事業完了後、自社民泊施設corasitaとナイトアクティビティ(音楽：Bossa Nova)を組み合わせた企画商品を開発、実施(8/11)。新規事業として今後も継続実施する。

企業名：アルバック機工株式会社

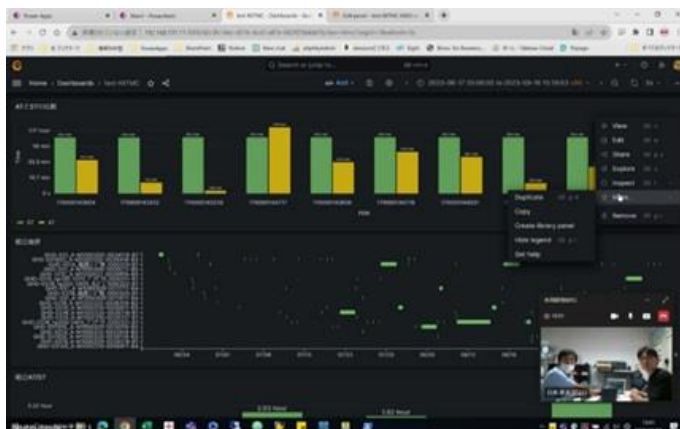
テーマ：IoTを活用した製造現場DX化の確立

1.概 要

製造現場のDX化に向けたデータベース構築とデータサイエンティストの育成を行う。

2.研究内容

- ▼収集したビッグデータを元にした最適データベースの開発
- ▼生産現場のデータを可視化し、意思決定に繋げるダッシュボードの開発



生産設備に取り付けたラズベリーパイ内蔵デバイス(左)
収集データを活用した実生産時間と標準生産時間の比較可視化テスト(右)

3.成 果

【研究開発】

- ・生産設備の稼働状況や実生産時間と標準生産時間の可視化ができた。また、経営陣が生産現場の生産状況や月・日毎の受注状況を把握できるようシステムを構築できた。

【人材育成】

- ・IoTデバイスに関する知識はあったが、本事業に取り組んだことでDXにはICT技術やセキュリティなど幅広い知識が必要であることが分かり、専門人材の育成や継続学習の必要性が認識できた。

4.事業終了後の成果等

- ・製造現場DX化の実用化に向けた研究継続中

事業終了後の 支援内容

未来みやざき産業人材育成事業

本事業終了後、従業員等が本事業で取り組んだ研究内容を下記のとおり分類、継続支援を行う。

分 類	区 分	主な支援方法
① 実用化	達 成	設備投資
	未達成	実用化に向けた助言等
② 事業化	達 成	設備投資 販路開拓支援
	未達成	事業化に向けた助言等
③ 研究ステップアップ	—	研究開発プラン策定 外部資金獲得

* 分類にあたっての定義

①実用化

研究開発等成果が主に実施企業等の社内で利用されるもので、直接の売上高増加に繋がらないもの

②事業化

研究開発等成果が直接の売上高増加に結びつくもの

③研究ステップアップ

研究開発等成果が事業化の可能性がある、事業化に向けた研究開発を必要とするもの